

氏名	金村 尚彦	部署	大学院 理学療法学科	職名	教授
研究分野	基礎理学療法学，運動器理学療法学				
学位	博士（保健学）				
学歴	広島大学大学院医学系研究科				
経歴	平成20年4月 埼玉県立大学 講師 平成24年 同大学准教授 平成28年 同大学 教授 平成31年 同大学 大学院研究科長				
所属学会（役職）	日本理学療法士協会、米国神経科学学会、米国整形基礎学会、運動器理学療法学会、基礎理学療法学会（評議員）、軟骨代謝学会、専門リハビリテーション研究会（理事）、（公社）埼玉県理学療法士会（学会評議委員会），日本整形内科学会（理事）				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ 基礎運動学テキスト	共著	あり	文光堂 304		編集 藤縄理/濱口豊太/ <u>金村尚彦</u> / 阿南雅也	2025年3月
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Fibrosis of the infrapatellar fat pad induces gradual cartilage degeneration in a rat model.	共著	あり	○	Tissue & cell 95 102851-102851	Hidenobu Terada, Takuma Kojima, Chiharu Takasu, Sora Kawabata, Naoki Shimada, Kota Nihei, Kiyomi Takayanagi, <u>Naohiko Kanemura</u> , Kenji Murata	2025年3月
2	Estimating the paths and mechanical behaviors of the plantar aponeurosis during dynamic movements using a multiple-marker foot model incorporating anatomically-detailed plantar aponeurosis morphology	共著	あり	○	Gait &Posture 117 283-291	Yuka Matsumoto, <u>Naohiko Kanemura</u> , Naomichi Ogihara	2025年3月
3	Impact of unilateral knee restraint on symmetry adaptation and double-support phase dynamic stability during split-belt walking	共著	あり	○	Experimental Brain Research Brain Research 243(3) 10.1007/s00221-025-07006-x	Keisuke Hirata, Hiroki Hanawa, Taku Miyazawa, <u>Naohiko Kanemura</u>	2025年2月
4	Hormonal fluctuations in rodent models using 4-vinylcyclohexene diepoxide: A systematic review and meta-analysis.	共著	あり	○	Hormones and behavior10.1016/j.yhbeh.2025.105680	Aoi Mashimo, Ryuga Oshida, Yuichiro Oka, Sora Kawabata, Chiharu Takasu, Kota Nihei, Takuma Kojima, Naohiko Kanemura, Kenji Murata	2025年1月
5	Lower limb biomechanics and control of center of mass during turning phases in daily gait	共著	あり	○	Journal of Electromyography and Kinesiology 10.1016/j.jelekin.2024.102959	Riku Kawabata, Moeka Yokoyama, Yuka Matsumoto, Keisuke Kubota, Sachiko Kosuge, Yasuyo Sunaga, Naohiko Kanemura	2024年1月

6	ラット前十字靱帯由来線維芽細胞の細胞遊走能は膝蓋下脂肪体との共培養により向上する	共著	あり		基礎理学療法学 27(1) 16-24	寺田 秀伸, 小島 拓真, 高須 千晴, 川端 空, 二瓶 孝太, 高柳 清美, 金村 尚彦, 村田 健児	2024年10月
7	Estimating three-dimensional foot bone kinematics from skin markers using a deep learning neural network model	共著	あり	○	Journal of Biomechanics 173 10.1016/j.jbiomech.2024.112252	Yuka Matsumoto, Satoshi Hakukawa, Hiroyuki Seki, Takeo Nagura, Nobuaki Imanishi, Masahiro Jinzaki, <u>Naohiko Kanemura</u> , Naomichi Ogihara	2024年8月
8	Effect of repeated sciatic nerve crush on the conditioning lesion response: Generating an experimental animal model to prolong the denervation period while maintaining peripheral nerve continuity.	共著	あり	○	Neuroscience letters 836 10.1016/j.neulet.2024.137879	Yuki Minegishi, Kaichi Ozone, Yuichiro Oka, Takuma Kano, Kenji Murata, <u>Naohiko Kanemura</u>	2024年8月
9	Effect of Residual Pain After Posterior Fusion Surgery for Lumbar Degenerative Disorders on Health-Related Quality of Life: A Two-Year Follow-Up Using Patient-Reported Outcome Measures	共著	あり	○	Cureus 10.7759/cureus.61611	Tatsuya Endo, <u>Naohiko Kanemura</u> , Toshikazu Ito, Keita Sato, Takuya Miura, Katsuya Onitsuka, Taku Miyazawa, Keisuke Kubota, Masumi Iwabuchi, Osamu Shirado	2024年6月
10	Speed-dependent modulations of muscle modules in the gait of people with radiographical and asymptomatic knee osteoarthritis and elderly controls: Case-control pilot study.	共著	あり	○	Journal of biomechanics 171 10.1016/j.jbiomech.2024.112194	Ken Takiyama, Keisuke Kubota, Hikaru Yokoyama, <u>Naohiko Kanemura</u>	2024年6月
11	Effects of sampling frequency and interpolation preprocessing on inter- and intra-study comparability of stabilometric variables	共著	あり	○	Biomedical Signal Processing and Control 90 10.1016/j.bspc.2023.105841	Moeka Yokoyama, Taku Miyazawa, Hiroki Hanawa, Keisuke Hirata, Hikaru Yokoyama, Keisuke Kubota, Tsutomu Fujino, <u>Naohiko Kanemura</u> , Haruka Kaneko, Arepati Adili, Muneaki Ishijima	2024年4月
12	【最適な非対称性動作を考える】非対称性からみた健常者の歩行動作の特徴	共著	なし		理学療法ジャーナル (0915-0552)58巻9号 Page1004-1008(2024.09)	平田 恵介, 塙 大樹, 金村 尚彦	2024年9月
13	【全身持久力トレーニング】運動器疾患患者に対する全身持久力トレーニング	共著	なし		理学療法ジャーナル (0915-0552)58巻8号 Page869-876(2024.08)	鬼塚 勝哉, 島田 直宜, 金村 尚彦	2024年8月

(3) 学会発表					
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	末梢神経損傷後の後根神経節における生物学的応答の探索	共同	日本基礎理学療法学会 八王子市	○ <u>金村 尚彦</u> , 峯岸 雄基, 櫻井 隆平, 川端 空, 黒尾 彩, 島田 直宜, 福田 京佑, 熊谷 竜徳, 村田 健児, 久保田 圭佑, 今北 英高	2024年10月
2	歩行時の内外側安定性の制御に対する歩行速度と傾斜条件が及ぼす影響	共同	日本基礎理学療法学会 八王子市	○神田 奈南, <u>金村 尚彦</u> , 平田 恵介	2024年10月
3	脳卒中者の歩行適応能力と皮質脊髄路の関係に関する筋間コヒーレンスを用いた一考察	共同	日本基礎理学療法学会 八王子市	○平田 恵介, 塙 大樹, 宮澤 拓, 久保田 圭祐, 横山 萌香, 藤野 努, <u>金村 尚彦</u>	2024年10月
4	筋Preferred directionに基づく,股-膝関節トルク生成時のハムストリングスの筋制御機構の変化	共同	日本基礎理学療法学会 八王子市	○久保田 圭祐, 横山 萌香, 宮澤 拓, 平田 恵介, 塙 大樹, 藤野 努, <u>金村 尚彦</u>	2024年10月
5	経時的変化に着目した変形性関節症に対する運動療法の効果	共同	日本基礎理学療法学会 八王子市	○岡 優一郎, 峯岸 雄基, 島田 直宜, 村田 健児, 前島 洋, <u>金村 尚彦</u>	2024年10月
6	アキレス腱の力学的特性が瞬発的な筋発揮と姿勢反応性に及ぼす影響	共同	日本基礎理学療法学会 八王子市	○宮澤 拓, 久保田 圭祐, 平田 恵介, 塙 大樹, 藤野 努, 横山 萌香, 鬼塚 勝哉, <u>金村 尚彦</u>	2024年10月
7	軟部組織動態を定量化するための画像解析プログラムの開発 特徴点抽出とオプティカルフローを用いた自動追従機能	共同	日本整形外科超音波学会学術集会 新宿	○宮澤 拓, 佐々木 郁也, 久保田 圭祐, 平田 恵介, 塙 大樹, <u>金村 尚彦</u>	2024年10月
8	生体内凍結固定法はマウス坐骨神経の形態的特徴を明瞭に描出する	共同	日本運動器理学療法学会 横浜市	○福田 京佑, 島田 直宜, 熊谷 竜徳, 櫻井 隆平, 久保田 圭祐, 峯岸 雄基, 甘利 貴志, 坂本 祐太, 志茂 聡, 村田 健児, <u>金村 尚彦</u>	2024年9月
9	関節角加速度の多関節協調構造から評価する変形性膝関節症者歩行の特徴	共同	日本運動器理学療法学会 横浜市	○久保田 圭祐, 杉本 望美, 横山 萌香, 鬼塚 勝哉, 加納 拓馬, <u>金村 尚彦</u>	2024年9月
10	SPARCが変形性関節症を模倣した軟骨細胞の遺伝子発現に及ぼす影響	共同	日本運動器理学療法学会 横浜市	○島田 直宜, 寺田 秀伸, 小島 拓真, 岡 優一郎, 峯岸 雄基, 福田 京祐, 熊谷 竜徳, 櫻井 隆平, 村田 健児, <u>金村 尚彦</u>	2024年9月
11	早期変形性膝関節症における遺伝子発現動態 バイオインフォマティクス解析によるハブ遺伝子の特定	共同	日本運動器理学療法学会 横浜市	○山口 純汰, 川端 空, 村田 健児, <u>金村 尚彦</u>	2024年9月
12	NF- κ B阻害はACL完全損傷後の自己治癒能を低下させる	共同	日本運動器理学療法学会 横浜市	○加納 拓馬, 島田 直宜, 峯岸 雄基, <u>金村 尚彦</u>	2024年9月
13	足部多点マーカに基づく運動中の3次元足部骨運動の推定	共同	日本運動器理学療法学会 横浜市	○松本 優佳, 伯川 聡志, 関 広幸, 名倉 武雄, 今西 宣晶, 陣崎 雅弘, <u>金村 尚彦</u> , 荻原 直道	2024年9月
14	腰椎固定術後における術後早期の身体活動 三軸加速度センサー内蔵ウェアラブル活動量計を用いた検討	共同	日本運動器理学療法学会 横浜市	○遠藤 達矢, <u>金村 尚彦</u> , 佐藤 圭汰, 三浦 拓也, 白土 修, 伊藤 俊一	2024年9月

15	活動期関節リウマチモデルマウスに対する低負荷運動療法の効果検証 巨視的変化に着目して	共同	日本運動器理学療法学会 横浜市	○小曽根 海知, 熊谷 竜徳, 島田 直宜, 高橋花奈, 米野 萌恵, 荒川 航平, 高畠 啓, 佐藤路晃, 川端 空, 峯岸 雄基, 岡 優一郎, 金村 尚彦	2024年9月
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)	光遺伝学的手法と運動療法を併用した末梢神経損傷後の新規治療戦略の創出		研究代表者	2022.6-2026.3
2	埼玉県立大学奨励研究費 (A)	膝前十字靱帯の自己治癒過程における機械感受性の変化の解明		研究代表者	2024.4-2025.3
3	埼玉県立大学奨励研究費 (科研費コース)	変形性膝関節症の進行を予測する因子の探索		研究代表者	2024.4-2025.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	運動学入門	○	15	運動学入門の講義について、Webを介したビデオ教材を作成し、学生が復習できる環境を設置した。	
2	臨床運動学	○	30	動作分析や歩行分析における分析手法と運動学・運動力学的視点での分析方法と各疾患別の分析方法について実習を含めて解説した。	
3	理学療法研究法演習		2	文献検索の方法や研究論文を読むために必要な統計学を解説した。	
4	理学療法管理学		13	理学療法業務にあたり、管理に関する事項や医療保健動向やカルテに関する解説を行った。	
5	障害基礎解析学特論	○	8	理学療法研究における解析方法について、バイオメカニクス的手法から組織学、分子生物学的分析方法の解説を行った。	
6	理学療法症候障害論	○	4	理学療法を対象としている疾患モデルや運動療法の効果検証の方法について解説した。	
7	保健医療福祉学際英語		2	国際学会での学会発表におけるポイントについて、事例を交えて講義を行った。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	機能診断学実習		27	運動器疾患に関する整形外科テスト（下肢）について、運動学、解剖学を交えて実技を行った。	
2	応用運動療法学実習		16	理学療法が対象とする運動器疾患についての評価や理学療法について実技を交えて解説した。	
3	理学療法基礎解析学演習	○	15	理学療法研究に関する分析方法、組織学、生化学分析の手法について開設を行った。	
4	理学療法応用技術学D(小児)	○	15	小児の発達と治療アプローチ方法について、実技を交えて実践した。	
5	リハビリテーション学演習（障害基礎解析学）	○	8	理学療法研究における解析方法について、バイオメカニクス的手法から組織学、分子生物学的分析方法の実技を交えて、最近の文献をもとに議論を行った。	
6	理学療法症候障害論 演習	○	8	理学療法を対象としている疾患モデルや運動療法の効果検証の方法について英文誌の読み解く演習と議論を行った。	

(3) 実習						
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	臨床教育実習Ⅰ		2週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。		
2	臨床教育実習Ⅱ		5週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。		
3	臨床教育実習Ⅲ		8週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。		
4	臨床教育実習Ⅳ		5週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。		
(4) 論文指導						
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数			
1	卒業論文	2024.4-2025.3	主指導	3名	副指導	0名
2	修士論文	2024.4-2025.3	主指導（指導教員）	5名	副指導（指導補助教員）	2名
3	博士論文	2024.4-2025.3	主指導（指導教員）	1名	副指導（指導補助教員）	2名
(5) その他						
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	東京有明医療大学	2024.4-2025.3	柔道整復師学科にてリハビリテーション医学，リハビリテーション実習を担当した。			
4. 社会貢献活動						
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師						
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月	
1	第12回日本基礎理学療法学会学術大会	日本運動器理学療法学会	教育講演「膝靱帯・半月板損傷の治療と術後リハビリテーションの実際」 座長		2024年9月	
2	第29回日本基礎理学療法学会学術大会	日本基礎理学療法学会	運動器エコーの新時代～SAVE THE MENISCUS～ 座長		2024年10月	
3	第7回日本整形内科研究会学術集会	日本整形内科研究会	指定演題 座長		2024年11月	
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等						
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称		任期	
1	社団法人 日本理学療法士協会		編集委員会 委員		2021.4-現在に至る	
2	基礎理学療法学会		編集委員会 委員		2021.4-現在に至る	
3	社団法人 日本基礎理学療法学会		学会評議員		2021.7-現在に至る	
4	埼玉県理学療法士協会 学会運営審議委員		学会運営審議委員		2020.4-現在に至る	
5	専門リハビリテーション研究会		理事		2020.4-現在に至る	
6	日本整形内科学会		理事		2022.4-現在に至る	
7	第12回日本運動器理学療法学会 準備委員会		副大会長		2022.7-現在に至る	
(3) ジャーナリズムでの発言						
	メディア等の名称		内容		年月	
1	該当なし					
(4) その他						
	項目	相手方等	内容		期間	
1	該当なし					

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	教育研究審議会	2022～2024年度
2	全学的委員会及びセンター業務等	大学運営連絡会議	2022～2024年度
3	全学的委員会及びセンター業務等	研究評価委員会	2022～2024年度
4	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会	2022～2024年度
5	全学的委員会及びセンター業務等	大学院入試委員会	2022～2024年度
6	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験管理部会	2022～2024年度
7	全学的委員会及びセンター業務等	有害物質管理責任者（全学）	2022～2024年度
8	全学的委員会及びセンター業務等	実験動物室 管理者	2022～2024年度
9	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験室 共通棟西 1 0 5 管理責任者	2022～2024年度
10	全学的委員会及びセンター業務等	研究倫理委員会 動物実験部門	2022～2024年度
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		